

梧桐会総会開催

5月9日(日) 於・大崎高校

梧桐会報

第45号

平成11年4月1日発行
発行所 梧桐会
事務局・東京都大田区多摩川
2-24-6-615 渡部良彦
TEL/FAX 03(3756)7114
編集人 渡部良彦
印刷所 日正印刷

東京でも木々の芽々が青々とし始め、若葉の緑が一段と目に見える頃となりましたが、梧桐会会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。日頃は同窓会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、同窓生一番の関心事であります新校舎の建築に付きましては、校長先生のご挨拶文中にもございますが、本年八月には校舎完成の運びとなり、二学期からは新校舎にて授業が始まるとの事です。大崎高校も今年で創立88年

ご挨拶



梧桐会 会長
川村 治

となり、来年度には新校舎落成記念と創立90周年の記念式典を学校にて執り行う予定とお聞きしております。

同窓会と致しましては、この記念すべき慶事に對して、出来る限りの協力をさせて頂きたいと考えております。

梧桐会会員の皆様にもお力添えをお願い致します。つきましては、その際には格段のご協力を賜りますことを御願ひ申し上げます。

日頃の同窓会活動に付きましては、毎年、幹事長を始めとして、新卒漢字までを含め十数

梧桐会の皆様には、本校改築のため、心からのご支援をいただき感謝しております。

さて、皆様の最大関心事である、改築工事についてご報告させていただきます。

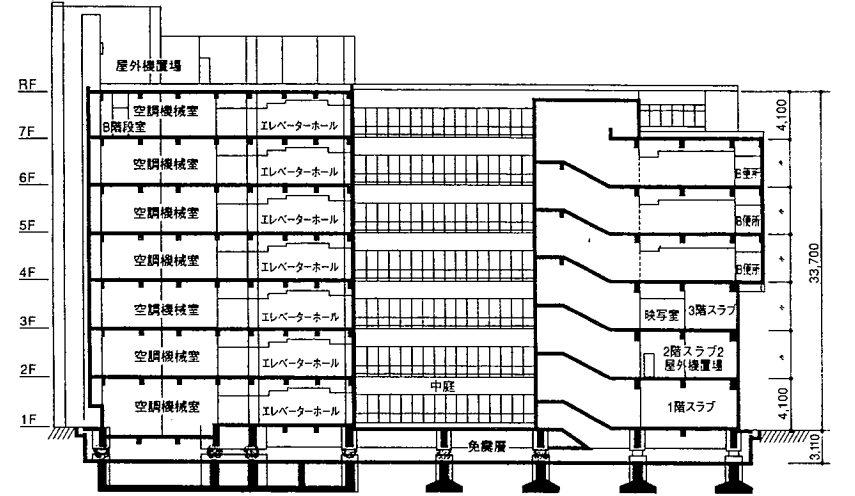
改築工事は、順調に進んでおり3月現在、7階の部分が立ち上がっております。5月の定例同窓会が行われるときには、内部仕切り工事を残し完成を待つばかりの姿が望まれるはずですが、

新校舎への移転は、当初11月の予定だったのですが、早まり、8月中旬に引越越し、新校舎に入れるのは9月1日からになります。

校舎の概要については延床面積1万2千033㎡の7階建て、最高高さ36.50m、エレベーター2基、全館冷暖房、双方向の映像システムが完備した東京都では初めての本格的な防震装置付き建物になります。

地域の防災の拠点としての機能が発揮されるものと大いに

日時 5月9日(日)
12時30分(受付開始)
13時~16時
会費 500円(新卒者は無料)
プログラム
会長の挨拶
校長の挨拶
その他



①について
本校では、従来、毎年、年間20数日の校庭開放日を設け、地域のテニスや少年野球の団体等に校庭を開放してまいりました。下神明のグラウンドでも継続して実施しております。

その他にも、水墨画やパソコン等の公開講座やPTAと協力して、学校地域ふれあいフェスティバル等も行い、地域に開かれた学校、生涯学習機能の枠組みのなかでの役割をはたしてまいりました。

新校舎完成後は、約30名収容できる視聴覚室・図書室・パソコン室・会議室等を地域の方に活用いただき、名実共に地域に開かれた学校となることを期待しております。

このことについては、住民説明会において約束をしております。

②について
忘れることのできない大災害となった阪神・淡路大震災やアメリカのノースリッジ地震では防震構造の建物の被害がほとんどなかったことが実証されました。

本校では、地域の防災拠点とするため、防震構造の建物といたしました。

住民説明会において、地域の方々から様々な意見をいただき、地域の皆様のご理解を得るための選択肢と推察しております。

防震装置とは、前回の会報において、ご説明したように直径が約80cm、高さが約50cmの積層ゴムアイソレーターと呼ばれる、フランスで開発されました。この装置は、巨大地震による災害を防ぐための装置です。大震災の横揺れ周期を約1.5秒と推定し、4秒免震と言われます。長周期で地震の揺れを逃がす装置です。簡単に言えば、地震が起きたら、その揺れと無関係にゆっくりと揺れる装置

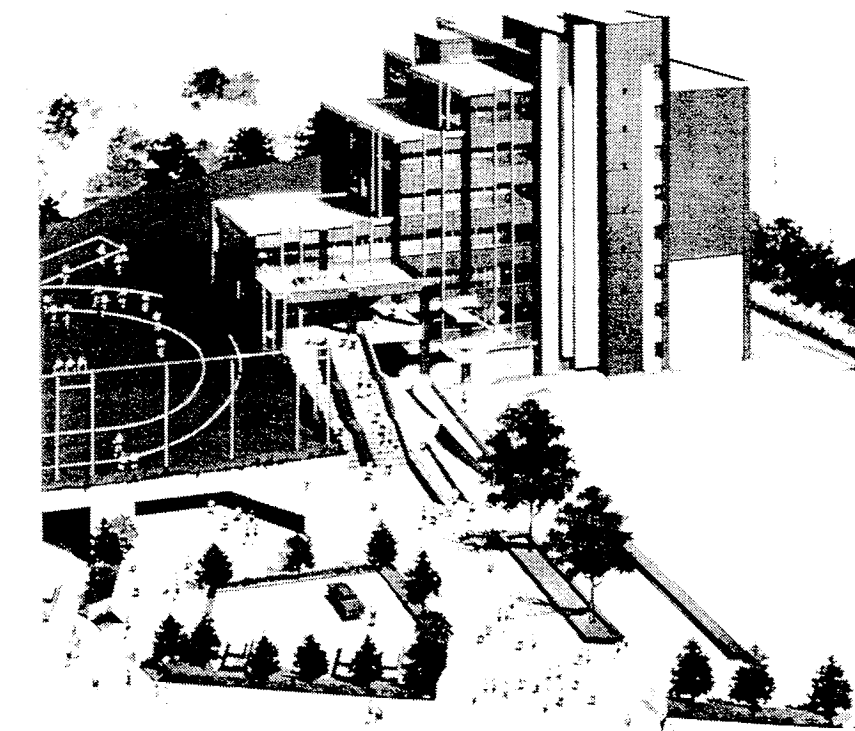


図3 校舎完成後の予想図

新校舎完成を
目指して



学校長 柏原 哲

梧桐会の会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、皆様もすでにご存知のように、只今、校舎改築工事が進行中です。工事は、地域の方々はじめ関係者のご協力で順調にすすんでおります。予定では、9月の2学期から新校舎で学べることとなっております。

皆さんの母校大崎高校の九十年に及ぶとる歴史と伝統の上に、新たに、モダンな免震構造をもった新校舎、という特色が加わることになりました。グラウンド工事など、改築工事は、まだこれからも続けますが、完成の暁には、21世紀にふさわしい母校が出来あがることと思っております。

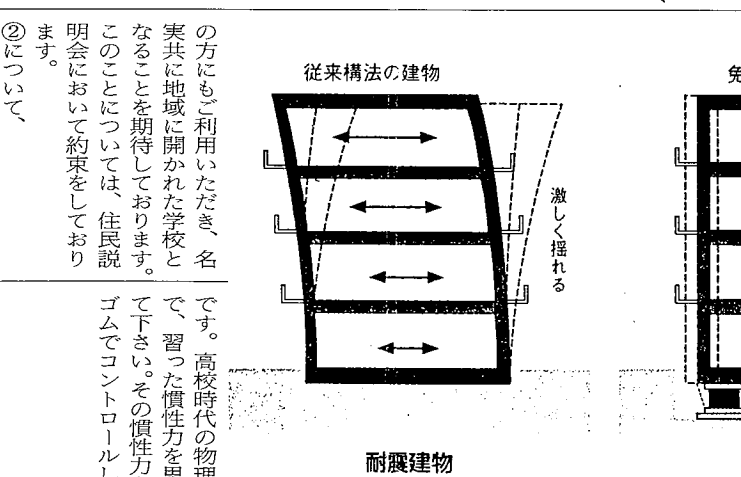
ところで、先日、川村会長と

お話しして、今年の総会は、秋に新校舎でなすはどうか、といいましたら、会長さんは、「梧桐会は5月の『母の日』と、思い込んでいたので、無理でしょう。」「通知を出さなくてもこの日に集まってしまうのですよ」とのことでした。

総会を「母の日」に定め、それを知らせなくても自然に集まってくるのでは、とお話をお聞きし、会員の皆様の母校思いと梧桐会の結束の強さに強く感銘を受けました。

そんなわけで、今年も新校舎での開催は無理でも、来年度は新校舎で開けることを楽しみにしております。

終りになりましたが、梧桐会の益々の発展と会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。



と考ればよいでしょう。このように、原理的には、極めて簡単にできています(図2)。この装置は、他に、揺れをゆっくり止める鉛・鋼棒ダンパーの1セットからできています。建物は、幅が約1mのグレーチング(隙間で囲まれています)。

次に、これからの工事予定ですが、工事説明会が行われており、概略のみ、お伝えしておきます。

(1)9月に移転後、しばらくしてから旧校舎の解体工事を行います。

(2)解体工事後、道路建設に平行して、人工地盤建設アプローチ部分の建設工事に入ります。

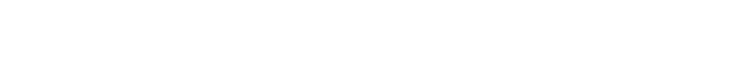
(3)最後に、校舎左側にテニスコートができます。

工事終了予定は、平成16年になります。

人工地盤、校舎完成後の予想図(図3)をご覧ください。右側が大井町線になります。このように立派な校舎・グラ

ウインドができます。しかし、本校の建設工事終了まで、後5年かかります。幸いに、工事中、下神明の仮グラウンド・体育館が借りられ、仮自転車置場も完備してありますが、通用門の変更、道路や人工地盤の工事などで長い期間がかかるため、学校としても生徒の日常の学校生活に支障がないよう、今後充分に考えていきます。

最後に、同窓会の皆様には、改築工事の全貌が分かりたいだけだと思いますが、如何でしょうか。工事が長期間に渡りますので、今後とも、皆様の御支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。



故郷は遠くにあつて 思うものである

金子 史男 (昭和33年度卒)

初めて梧桐会から原稿の依頼を受けて、いささか興奮気味に筆をとりました。長年、無沙汰していましたが、多分私は昭和33年度卒業生の方で、行方不明者のひとりではないかと思つておられます。しかし、実際には上山幸一君、原川和久君、永井晴夫君、渡辺康彦君(ワンちゃん)らとは年賀状のやり取りと、3年に一度の割で原川君経営の割烹「はら川」で会合をもつては、当時のなつかしい同級女子生徒の思い出を酒の肴にしておりました。また、受け持っていた数学の宮本哲夫先生には、今年も年賀状にて近況をお知らせいたしました。思えばなつかしい青春時代の1ページです。

昭和31年4月、小生は失意



何と彼女らに近づきたいと思つて、女性にもたのワンちゃんについて、「チョコチョコ」と努力してみたのですが、小生にはダメでした。また、宿か湖の中程にある弁天島迄の遠泳にも参加してみましたが、結局途中でギブアップで、これもダメでした。どうも何をやらせてもダメで、勿論勉強もダメです。

2年生の9月、ワンちゃんが生徒会長に選ばれました。そして、いつの間にか小生は副会長で会計係ということになつてしまつたのです。これほどでもないことで、さてこれから大学受験の準備に入らなければと思つていた矢先でした。

昭和32年はソビエト連邦中国を中心とする共産主義の国々、所謂鉄のカーテンの国と米国の関係が厳しく、我々も米国の安全保障協定条約の話題が出てきた時、米

46年前の思い出

関 千代子 (松田) (昭和28年度卒)

毎年、梧桐会報をお送り頂き、懐かしく楽しく拝見しています。封書が届いた時、同窓同期会のご案内だと思つて、封を切ると、中から原稿用紙が出てきて驚きました。46年前の思い出を何から書いたら、と思案しました。

大崎高校へ入ったのは2年生の時、父の転勤で山口県の小野田高校からの転入でした。まず大崎高校の武家屋敷跡の門が気に入りました。2年の担任は、国語の高砂清司先生でした。とても優しい先生で、何かの折にお話していると、「君は良い奥さんになれる

よ」と言つて下さいました。田口先生は生徒指導の先生で、体格の良い、声も大きく眼鏡を掛けた、ユーモラスな先生でした。私は転入時、前の学校がセーラー服だったので暫く母の手作りのえんじのブラウスを着ていたのですが、何もおっしゃいませでした。日本史の石川先生は、いつも黒いスーツを着ておられ、牧師さんの様な先生でした。ネクタイを巻くと気になられるのか、色白の頬をほろりと染められ、照れられたように見えました。地学の芳賀沼先生は、授業中に地震が起きると



なぜか廊下側でなく、窓の方へ飛んでいかれました。娘に話したら、窓の方が建物物が壊れたら見つけてもらいやすいと言います。46年前の疑問が解けました。

私は目黒に住んでいましたので、体育祭にも親が来ることもなく、友人と食事をしたように思っています。現在は学食があるようですが、当時は屋

休みになると、パン屋さんが来て行列を作つて求めたものでした。カレーパン、アンドーナツがとても美味しかったのが思い出されます。厚切りの食パンにピーナツバターとジャムが塗られたのがあり、安くて意外と美味しかったのも印象に残っています。今でもよく、パンをいただきます。あの時のパンの方が美味しかったように思っています。

3年生のクラスメートに田中孝枝さんという方がおられました。穏やかで冷静な優しうい方でした。卒業後、トニーライターの映画「白銀は招くよ」に連れていかれました。今度私がお連れします。今度こそ、そのまゝになって田中さん思い出します。卒業後は、田中さんや加村定子

さんと新宿御苑に行つたり、加村さんの結婚式に田中さんと出席させて頂きました。教会での素敵な式と、加村さんのお幸せそうな顔が今でも思い出されます。

ここ10年間、最初の5年半は、義母の看護を自宅です。その後2年半は病院で付き添う生活を、主人と交替でしました。母亡き後、2か月後、今度は主人が心臓バイパス、腹部動脈瘤手術で入院し、MRS A院内感染で51日間ICUで治療計12カ所の切開を、1年4カ月の入院生活となりました。無事退院して1年になりましたが、まだ少し後遺症があり、回復に時間がかかっています。暖かな日は、二人で散歩するようにしています。

どうぞ、皆様もお元気でお過ごし下さいませ。

で報道されてきました。その原水爆反対運動は高校生にまで広がろうとして、当然のことながら我々の生徒会にもその問題が波及してきました。当時の有元石太郎校長、池田教頭、浜田学年主任が心配して生徒会の意向をうかがつていたのでした。我々生徒会幹部は生徒会長のワンちゃんを中心に小生、理論家の田上茂夫君、新聞部の永井晴夫君らとともにこの問題について真剣に討議いたしました。高

北イタリア
ボルミオにて

田村 徹 (昭和34年度卒)

一、今の原稿をアルプス地方北イタリアのリゾルトスキー場であるボルミオで書いています。弁護士という職業柄か中々まとまった休暇がとれないが、年度末になると裁判官の異動で比較的法定が入らないため、最近よく3月末か4月初めにかけて旅に出ることが多い。3月末になると日本のスキー場は北海道に行つても雪質がザラメ状になりコンディションが悪くなるので、カナダとかアルプスに来ることが多くなりました。アルプスは雪質が良いし、山々の景色が素晴らしい。移動に丸一日以上かかることや、イタリア語、フランス語が通じないので会話に不自由するが、スキー場の良さ忘れられず来た来てしまふ。



田村 徹 (昭和34年度卒)

を出したのです。そして、小生はそれから27年間札幌に生活し、その間北大病院における医師として、また昭和46年には2年間の英国ロンドン大学セントジョンズ皮膚病科の留學生生活を経て、これからどうするかと思つておりました。

昭和62年11月末、雪が深々と降り、住み慣れた札幌を離れ、現在の福島県立医科大学へ赴任いたしました。北大の皮膚科医局時代の大事帯からこじんまりの福島医大の医局での生活は、またひと味違ったものですが、暗中模索しているうちに既に12年目に入りました。大崎時代はもう遠い昔の故郷の出来事になってしまいました。その間、大宮の日産ディーゼルの技術者として活躍していたはずの田上茂夫君が亡くなった。深く哀悼

をしようとする。問題の所在と解決の道筋を示すため、都側に対し騒音・大気汚染および交通公害に関する将来予測を、それに必要な防止対策を策定した上で次回以降の交渉を行うべきことを提案した。

この問題で2回目以降の交渉に参加せよとの招集はなかった。元々この問題は理科学的分野であり、弁護士が解決すべき専門分野ではない。都側との交渉の進め方の方向が見えれば、後は物理や数学の先生が多数居る大崎高の教師集団で解決できるのである。三、それ以来残念ながら大崎の母校には行ってない。否、行きたい気はあるのだが、多忙な業務に追われてか、またその機会を意図的に作らないためか御無沙汰している。

この原稿も結局ボルミオで完成せず、編集者から督促を受けて仕事帰りの電車の中で終了させた。しかしこれによって、メリハリ付けて過ごすのが大事と観念している。

の意を表したい。合掌。

一昨年、割烹「はら川」で原川君、ワンちゃんを始め、永井君、上山君、理論物理学の富隆君(東京理科大学教授、高校時代リーゼントスタイルとラップする小野哲男君、東大生であった長谷川博信君ら11人余りが集まった。話題は遠い大崎時代のことだったが、話がつきつことはなかった。なつかしい人々との出会いです。

(平成11年3月24日 福島市にて)

寄付者氏名 (敬称略、数字は卒業年度、平成9年度分)

榎本由紀子(42)、渡辺よし子(42)、吉田マサ子(40)、松原淳(62)、土橋八重子(43)、富田久方(30)、篠原明美(50)、木村元(平4)、小林昭三(24)、中島裕子(56)、山本和夫(46)

平成10年度分

北村由紀子(32)、吉村こう子(17)、渡野恵子(28)、津田愛子(14)、岩波良和(56)、大津元子(35)、中島裕子(56)、津田弘(29)、松原淳(62)

寄付のお願い

一口500円として、次の方法でお送り下さい。同窓会の当日も受付しております。

郵便振替 00170-0-614506 (加入者名 大崎高校梧桐会)

教員なりたての頃



旧職員 志村 秀三

66年4月、始業式の前日、校長室に一人呼ばれ、「東京都立大崎高等学校教諭に補する。高校2等級4号給を給する」と素直に記された辞令を受け、「公務員として法律を守り」とか宣誓をさせられて、23才で教員になった。

初任給は二四〇〇円だった。電車の脇に広がる校庭から一段高く、たしか淡くピンク色に塗られた木造校舎の感じが好きだった。職員室の前

在職23年の思い出



旧職員 堀江 通輔

私の大崎高校での在職期間は、昭和38年3月から同61年3月までの実に23年間です。しかも現役最後の勤務先ともなったので、様々な思い出と共に懐かしさは格別なものがあります。大崎を去ったのがつい昨日のようにも思える一方、遙か昔のようにも思われる、不思議な気分です。

さて、私が大崎に赴任してきた当時は、まだすべてが木造の校舎でした。2階建てで教室のあった棟は校庭に沿っ

て建てられていました。校舎の中央あたりで敷地に数メートルの落差があり、低い所に建てられたものと、高い部分に建てられたものとの2棟を継いで1棟にしたものの如く思われました。その中央の継ぎ目の1階に小さな出入口があり、そこから向いの管理棟に通じる小路がありました。この中庭には大小様々な樹木が繁茂していて、その中を潜るようになって授業などに往き来したものです。初夏ともな

もないので、せつせと本を読んだ。68年春に結婚した。都立教員会館の「集會室」を借りて酒つま持ち込み・会費八〇〇円で「祝う会」をしてみました。

90年に中途退職をして、百姓の真似事をしている。鶏2羽。荒れていた土地をただで借りて、畑や田んぼらしくして、手のかからない根菜類を主に少しの野菜と、米を作ったりしている。田植と稲刈りは何人か寄って、手作業でしている。不登校や軽い精神障害の人が暮らせる場に：なると考えていたが、何となく10年が過ぎてしまった。今でも学校の夢を見る。何の準備もなく教室に行くと往生する、とか、教室にひとりも生徒がいない、とか、困り果てて：目がさめて：ああ、よかた」と心から思う。

大崎高校の特色の一つに、必修クラブがあります。生徒や教員の多彩な志向を反映した多くのクラブが土曜日を中心に実施されています。その中の一つ、我がリーディング・ラボ部は英語の物語を読むクラブです。カードに書かれた物語を読み、そして問題を解いて、読みを確認していきます。カードはレベルが色で示され、自分の力にあった物語を選んでいきます。卒業までに百枚、金色まで読むことが目標です。

日常的な活動の他にリーディング・ラボ部では、この春休みに「国内留学」しました。British Hillsというゲートとくると町並みから通りを歩く人まですべて「イギリス」という福島県にある英語研修施設に行っていました。日本でありながらまるでイギリスに行ったのと同じような体験をし、部員たちはまたあらためて、英語を勉強することの楽しさ・難しさを感じました。

大崎高校はオーストラリアからティム君、アメリカからデビッド君を留学生として迎えて、国際化に対応した教育

大崎高校の進路状況

現職員 吉田 之彦

立をはじめ早稲田・慶応・上智などの難関私大にも多くの合格者を出し、昭和47年では463名という多数の合格者を出した。昨年度は、進路指導部の上智大学教授の先生が来校され、その先生が本校の卒業生で、なぜ大崎生が上智を受験したいのか、是非、上智を受けて欲しいとのことでした。

今年2月、就職を依頼し、某企業の人事担当の取締役の方が来校され、大崎生を是非欲しいとのこと、大変有難い話

進路別一覧表 ()内は入学者数

	98年度			
	新卒	旧卒	新卒	旧卒
国立大	0	0	3(2)	0
公立大	60(40)	21(20)	81(28)	7(3)
私立大	0	53(39)	0	1(0)
短期大	39	44(41)		
専門学校	0	0	0	0
文部省外官庁所管の学校	0	0	0	0
その他の学校	1	0	0	0
公務員	2	0	0	0
就職	6	12		
計	108	130	84	8
	(88)	(112)	(30)	(3)
	238		92	
	(200)		(33)	
		330	(233)	

大崎高校の特色の一つに、必修クラブがあります。生徒や教員の多彩な志向を反映した多くのクラブが土曜日を中心に実施されています。その中の一つ、我がリーディング・ラボ部は英語の物語を読むクラブです。カードに書かれた物語を読み、そして問題を解いて、読みを確認していきます。カードはレベルが色で示され、自分の力にあった物語を選んでいきます。卒業までに百枚、金色まで読むことが目標です。

日常的な活動の他にリーディング・ラボ部では、この春休みに「国内留学」しました。British Hillsというゲートとくると町並みから通りを歩く人まですべて「イギリス」という福島県にある英語研修施設に行っていました。日本でありながらまるでイギリスに行ったのと同じような体験をし、部員たちはまたあらためて、英語を勉強することの楽しさ・難しさを感じました。

大崎高校はオーストラリアからティム君、アメリカからデビッド君を留学生として迎えて、国際化に対応した教育

大崎高校の特色の一つに、必修クラブがあります。生徒や教員の多彩な志向を反映した多くのクラブが土曜日を中心に実施されています。その中の一つ、我がリーディング・ラボ部は英語の物語を読むクラブです。カードに書かれた物語を読み、そして問題を解いて、読みを確認していきます。カードはレベルが色で示され、自分の力にあった物語を選んでいきます。卒業までに百枚、金色まで読むことが目標です。

日常的な活動の他にリーディング・ラボ部では、この春休みに「国内留学」しました。British Hillsというゲートとくると町並みから通りを歩く人まですべて「イギリス」という福島県にある英語研修施設に行っていました。日本でありながらまるでイギリスに行ったのと同じような体験をし、部員たちはまたあらためて、英語を勉強することの楽しさ・難しさを感じました。

大崎高校はオーストラリアからティム君、アメリカからデビッド君を留学生として迎えて、国際化に対応した教育

大崎高校の特色の一つに、必修クラブがあります。生徒や教員の多彩な志向を反映した多くのクラブが土曜日を中心に実施されています。その中の一つ、我がリーディング・ラボ部は英語の物語を読むクラブです。カードに書かれた物語を読み、そして問題を解いて、読みを確認していきます。カードはレベルが色で示され、自分の力にあった物語を選んでいきます。卒業までに百枚、金色まで読むことが目標です。

日常的な活動の他にリーディング・ラボ部では、この春休みに「国内留学」しました。British Hillsというゲートとくると町並みから通りを歩く人まですべて「イギリス」という福島県にある英語研修施設に行っていました。日本でありながらまるでイギリスに行ったのと同じような体験をし、部員たちはまたあらためて、英語を勉強することの楽しさ・難しさを感じました。

大崎高校はオーストラリアからティム君、アメリカからデビッド君を留学生として迎えて、国際化に対応した教育

大崎高校の特色の一つに、必修クラブがあります。生徒や教員の多彩な志向を反映した多くのクラブが土曜日を中心に実施されています。その中の一つ、我がリーディング・ラボ部は英語の物語を読むクラブです。カードに書かれた物語を読み、そして問題を解いて、読みを確認していきます。カードはレベルが色で示され、自分の力にあった物語を選んでいきます。卒業までに百枚、金色まで読むことが目標です。

日常的な活動の他にリーディング・ラボ部では、この春休みに「国内留学」しました。British Hillsというゲートとくると町並みから通りを歩く人まですべて「イギリス」という福島県にある英語研修施設に行っていました。日本でありながらまるでイギリスに行ったのと同じような体験をし、部員たちはまたあらためて、英語を勉強することの楽しさ・難しさを感じました。

大崎高校はオーストラリアからティム君、アメリカからデビッド君を留学生として迎えて、国際化に対応した教育

進路別一覧表 ()内は入学者数

	98年度			
	新卒	旧卒	新卒	旧卒
国立大	0	0	3(2)	0
公立大	60(40)	21(20)	81(28)	7(3)
私立大	0	53(39)	0	1(0)
短期大	39	44(41)		
専門学校	0	0	0	0
文部省外官庁所管の学校	0	0	0	0
その他の学校	1	0	0	0
公務員	2	0	0	0
就職	6	12		
計	108	130	84	8
	(88)	(112)	(30)	(3)
	238		92	
	(200)		(33)	
		330	(233)	